

近代化・合理化に係る融資（一般融資）実施要綱

平成29年4月24日 制定

令和8年2月19日一部改正

（目的）

第1条 この融資は、トラック運送事業の振興を図るために、近代化・合理化の促進、輸送力の増強及び従業員の福祉施設の整備等の事業を目的としたものである。

（定義）

第2条 次に掲げる用語の定義は、以下に定めるところによる。

- （1）事業者とは、一般社団法人神奈川県トラック協会に加入する会員をいう。
- （2）一般融資とは、近代化・合理化に係る融資をいう。

（融資条件）

第3条 当融資制度における融資条件は、次に定める内容を満たすものでなければならない。

（1）融資対象

- ①トラックターミナル・配送センター等の物流施設の整備に要する資金
 - ・近代化・合理化のための事務機器等の設置購入に要する資金を含む
 - ・設備の補修・改修に要する資金を含む
- ②人材確保及び生産性向上のための設備資金
 - ・福利厚生施設の整備に要する資金（男女別施設（トイレ・更衣室・休憩室等）を含む）
 - ・荷役機械購入に要する資金（テールゲートリフターの設置を含む）
- ③車両等の購入（代替を含む）及び車両の改造に要する資金

（2）融資限度

1億2千万円とする。（一般融資、ポスト新長期等融資、環境対応車及び省エネ関連機器導入融資を含めた合算額とする）

なお、再融資を受ける場合には、既往の借入金が当初の約定に基づき正常な形で償還されており、融資限度額から既往の融資残高を控除した額の範囲内で申込みができるものとする。

（3）融資利率

取扱金融機関の所定利率による。

（4）償還期間

10年以内（据置期間6カ月を含む）とする。但し、車両は5年以内とする。

なお、融資対象物件の減価償却年数が10年未満の場合については、原則、法定耐用年数以内とする。

(5) 償還方法

月賦、隔月賦又は3ヶ月ごとの元金均等分割償還とし、償還日は任意で事業者が選択して定める。

(6) 取扱金融機関

株式会社商工組合中央金庫（以下「商工中金」という）の本支店及び商工中金の代理店（以下「商工中金等」という）とする。

(7) 融資対象期間

投資の時期が令和8年4月1日から令和9年3月31日までの期間内であるもの。

なお、投資の時期は、融資実行日、資金の支払い、納品納車、車両の登録年月日等で判断する。

但し、融資対象期間内の事業であっても、公募開始前に投資されたものについては、(8)の但書によるものを融資対象とする。

(8) 事業の公募時期

令和8年4月1日から令和9年1月31日までとする。

但し、当該年度の公募総枠に達し時点で、公募を打ち切るものとする。

なお、公募開始前に支払いを行ったものであって、(7)に定める融資対象期間の開始日以降に商工中金から「つなぎ融資」又は「割賦手形」で必要資金を賄い、かつ本融資の資金がつなぎ融資の一括返済及び割賦手形の一括組戻しに充当されるものについては、融資対象に含める。

(9) 利子補給率

毎事業年度2月の商工中金長期プライムレートに3分の1を乗じた利率（%の小数点第2位を四捨五入）を翌事業年度4月から9月までの融資推薦分の利子補給率とし、当該年度8月の商工中金長期プライムレートに3分の1を乗じた利率（%の小数点第2位を四捨五入）は当該年度10月から翌年3月までの融資推薦分の利子補給率とする。

(10) その他

この要綱に定めるもののほか、その運用に関し必要がある場合には、別に定めるところによる。

附則（令和8年2月19日改正）

この要綱は、令和8年度融資分から適用する。